

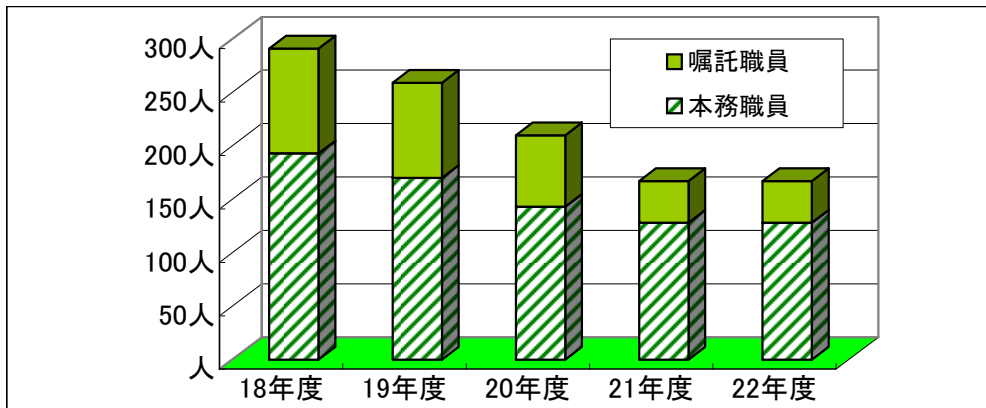
1. 効果的な運営体制の確立

戦略目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 職員数の削減 ◆ 業務の民間委託拡大
------	---

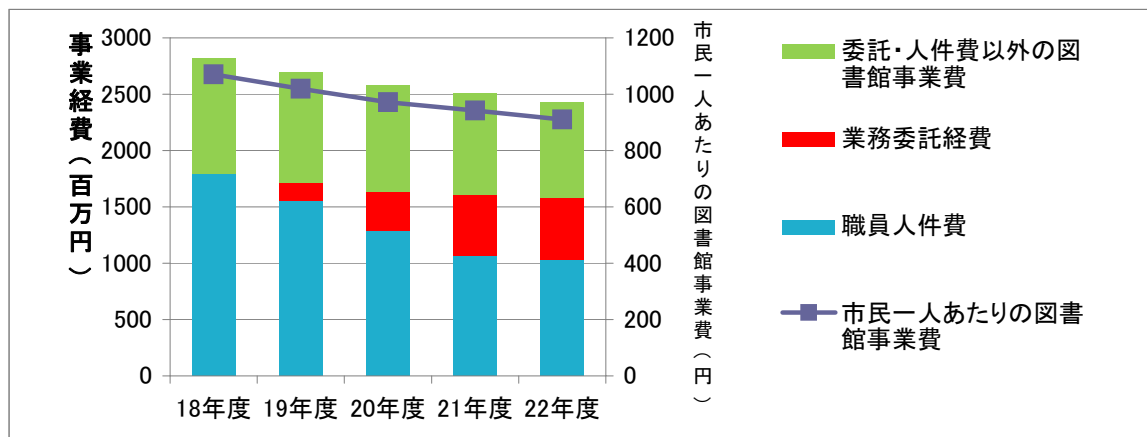
進捗	<ul style="list-style-type: none"> ○職員定数の見直し(40%減 - 18年度と22年度の比較) ○市立全館 窓口等定型業務の民間委託 ○通送業務・自動車文庫運転業務の民間委託 	○
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務等定型業務の民間委託による人件費削減 ・経費削減により、以下のサービス拡充を図る 開館日拡大(2-1 全市民への図書館サービス(開館日拡大)のシート参照) 自動車文庫のステーション増(18年度:68か所 → 22年度:105か所【H22目標:105か所】) 館外読書普及事業の拡大(幼児期施設や高齢者福祉施設等への貸出便の増) 	○

評価指標名		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	目標	
進捗指標	職員数の削減	本務職員数	193人	170人	143人	128人	128人	4割削減
		嘱託職員数	98人	89人	67人	39人	39人	
	窓口業務の民間委託	—	4館	13館	全24館	全24館	H21～全館委託	
	通送業務の民間委託	—	—	民間委託	————→		H20～委託	
	自動車文庫運行業務の民間委託	—	—	民間委託	————→			
成果指標	職員人件費	(千円) 1,791,869	(千円) 1,557,546	(千円) 1,293,256	(千円) 1,068,012	(千円) 1,032,198		
	開館日数	中央図書館	274日	290日	285日	323日	324日	50日増
		地域図書館	280日	283日	297日	296日	300日	20日増
	自動車文庫ステーションの拡大	68カ所	69カ所	81カ所	90カ所	105カ所	105カ所	
	市立図書館間相互貸借貸出冊数(通送)	2,460,528冊	2,790,825冊	3,119,331冊	3,435,943冊	3,586,816冊		

■ 職員数の削減推移



■ 図書館事業費と人件費、業務委託経費、市民1人あたりの図書館事業費の年度推移(予算)



実績値

■指定都市(5大都市)のサービス指標比較(平成23年4月1日現在)

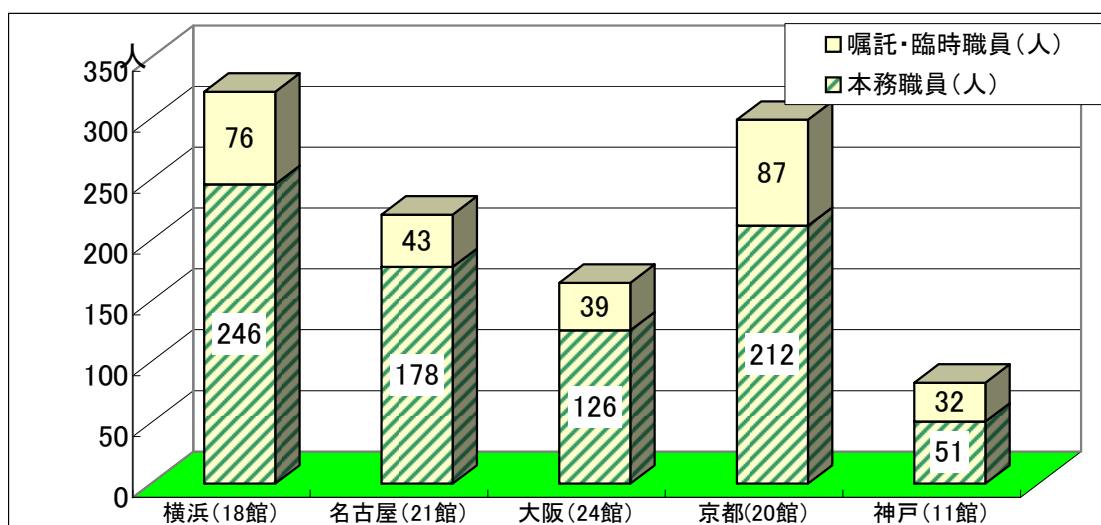
(図書・資料費は22年度予算)

5大指定都市 サービス指標 比較	人口 (千人)	中央		地域		本務・嘱 託・臨時人 件費(千円)	図書資料費		総経費		利用状況		
		本 務 職 員 数	嘱 託 臨 時 職 員 数	本 務 職 員 数	嘱 託 臨 時 職 員 数		図書・資料 費 (千円)	市民 1人 当 た り 図 書 資 料 費 (円)	図書館費+ 人件費 (千円)	市民 1人 当 た り 図 書 館 費+ 人件費 (円)	全館年間貸 出冊数	全館年間予 約件数	全館年間 参考調査 受付件数
大阪市24区(24館) (全館窓口委託)	2,668	80	39	46	0	1,078,920	236,453	89	2,528,813	948	12,691,500	2,843,293	212,051
横浜市18区(18館) (中央・地域2館窓口委託、地域1館指定管理)	3,692	90	0	156	76	2,052,120	209,086	57	3,517,454	953	10,867,723	2,812,966	235,051
名古屋市16区(21館) (地域3館窓口委託)	2,267	51	7	127	36	1,495,160	223,248	98	2,444,451	1,078	12,098,468	1,669,581	37,030
神戸市 9区(11館) (中央・地域1館直営、 地域9館指定管理)	1,536	45	27	6	5	452,820	151,800	99	1,268,781	826	7,035,248	1,625,370	24,529
京都市 11区(20館) (全館財団運営)	1,474	37	12	175	75	1,762,120	205,520	139	2,400,288	1,628	7,879,530	1,515,673	37,706

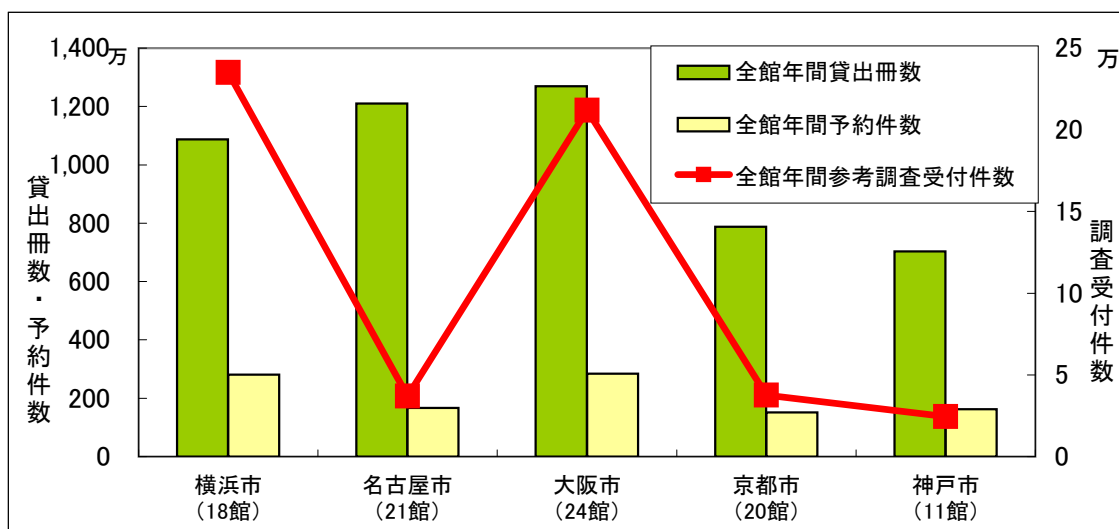
本務職員7,820千円、嘱託職員2,400千円、臨時職員1,200千円で計算

ただし、京都市の本務職員には財団派遣の本務職員と財団職員が混在する。

■指定都市(5大都市)の職員構成比較(平成23年4月1日現在)



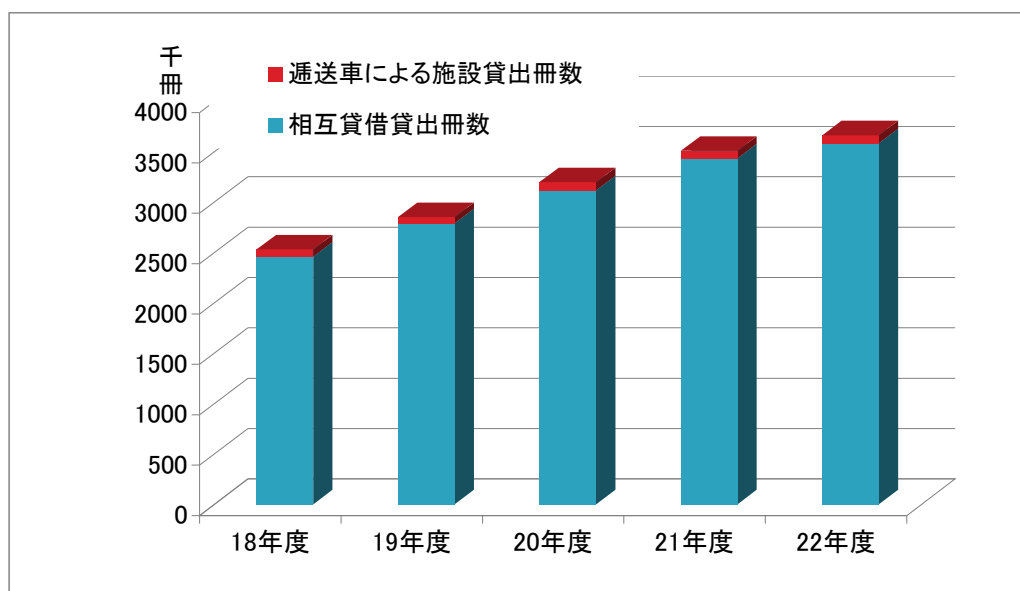
■指定都市(5大都市)の利用統計比較(平成22年度)



■ 窓口業務委託年度推移

館名		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
中央		← 3年契約 → 【T社】（プロポーザル応募4社）			← 3年契約 → 【T社】（プロポーザル応募1社）		
南西ブロック	阿倍野			← 3年契約 → 【T社】（プロポーザル応募2社）			3年契約 ⇒ 25年度まで
	浪住之江						
北ブロック	東淀川			← 3年契約 → 【N社】（プロポーザル応募4社）			3年契約 ⇒ 25年度まで 【T社】（プロポーザル応募1社）
	島淀内川						
西ブロック	西淀川			← 3年契約 → 【T社】（プロポーザル応募2社）			3年契約 ⇒ 25年度まで 【T社】（プロポーザル応募2社）
	福此島花						
東ブロック	旭島			← 3年契約 → 【D社】（プロポーザル応募4社）			3年契約 ⇒ 25年度まで
	都城東見						
南東ブロック	平天寺			← 3年契約 → 【T社】（プロポーザル応募3社）			3年契約 ⇒ 25年度まで
	東生野						

■ 大阪市立図書館24館間の送送車による相互貸借と施設配本貸出冊数の年度推移



今後の取組

○ 窓口業務の民間委託

・委託管理業務の効率性を高め、安定した委託業務遂行により、本務職員によるレファレンス機能の提供・館外サービスの拡大を図る。

○ 送送業務の民間委託

・増大する相互貸借量に対応する定期便の増加、地域連携での行事開催における臨時便の増等に対応するためのさらなる財源確保。